

平成27年 8月26日

各 位

会社名 株式会社ファインデックス  
 代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫  
 (コード番号: 3649)  
 問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤  
 (TEL. 089-947-3388)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

平成27年2月13日に「平成27年12月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました平成27年12月期通期の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成27年12月期通期の業績予想数値の修正 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	3,700	1,583	1,584	1,022	39.33
今回発表値 (B)	2,930	512	512	337	12.97
増減額 (B-A)	△770	△1,071	△1,072	△685	-
増減率 (%)	△20.8	△67.7	△67.7	△67.0	-
(ご参考) 前期実績 (平成26年12月期通期)	2,863	992	1,008	630	24.25

(注) 当社は、平成27年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。このため、平成26年12月期通期の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

#### 2. 業績予想数値の修正の理由

当社は、平成27年5月7日に公表した株式会社トライフォーからの事業譲受(平成27年7月1日効力発生)による効果を精査中でありましたが、その資産、現在進行中の案件及び人的資源の精査を終え、通期の業績についても一定の見通しが確定しましたのでお知らせいたします。

当期の通期実績の見通しについては、従来の病院医療分野では、昨年の消費増税による駆け込み需要の反動も一部要因とし、想定より売上高で300百万円程度、営業利益ベースでは120百万円程度減少する見通しとなりました。また、当期より本格的に取り組みを始めた新事業分野においては、システム更新時のデータ移行に利用される製品の営業活動の立ち上がり段階において、当初想定より時間がかかってしまったことから、業績面で大きな寄与を見込めるのが当期から翌期となる見通しとなり、売上高及び利益ともに、それぞれ400百万円前後減少する見通しとなりました。加えて、事業譲受に伴う一時的な諸費用と、人件費や地代家賃、のれん償却等の諸費用が当初見込みから300百万円程度上回る見通しとなりました。

### 3. 今後の取り組みについて

当社は今後、中小規模病院に必要な放射線領域のシステムも販売可能となり、これまで当社が展開してきた製品群と合わせて、ドクターが必要とするすべてのシステムをワンストップで提供することができます。これに加えて、大手放射線機器メーカーとの連携も強化しつつさらなる業績の拡大に努め、大規模病院を中心とした戦略をあらゆる規模の医療機関に広げてまいります。なお、新事業分野の上記製品については、現段階において、7月以降6案件での利用実績に加え年内で15案件の利用が予定されています。

また、非医療領域に対しても、現在商談を進めている企業のニーズを的確に汲み取り実績に繋げるとともに、大手金融機関等との連携も含め、さらなる市場の拡大に鋭意取り組んでまいります。

以 上